

第6学年道徳科 「僕が思う、私が思う『リーダー像』」

学習指導者 岡根 平

単元の概要・子供と共有した目標 自らの目標に向かう姿

最高学年となり、学校のリーダーとなった自分たちの現状を振り返り、これから自分がリーダーとして大切にしたいことを、道徳科の授業を通して考えていった。その際、子供たちと共有した道徳科の内容項目の中から、リーダーとして必要だと思うことを選んだ質問紙調査の結果を基に、どの内容項目からリーダーについて考えていくか学級で話し合い、学習の見通しをもった。

見通し 問題を発見して、課題を設定する姿

まず、前時の学習を振り返るとともに「これから自分が学校のリーダーとして大切にしていきたいことを考える」という単元の目標を確認した。そして、よりよい学習を自分で行えるようにするために、これまでの学び方について振り返ったシートから、本時意識したい学び方を選択する時間を設けた。

その後、教材の問題場面を確認し、自分にも似た経験があったかや、主人公の悩む気持ちに共感できるか教師が問うことで自我関与を促し、本時の目当てを設定した。

前時に、リーダーとして大切にしたいと自分が考えたことを隣の人と伝え合った後、本単元の目標を確認した。学び方についても前時の記録を基に、本時意識したい学び方を選んでいく様相が見られた。その後、事前に視聴した教材について整理することで、問題場면을把握し、主人公の迷う気持ちに共感しながら、本時考えたいことを明確にしていった。



親友のタクヤのことを思ったら伝えない方がいいけど、他の三年生のことを考えたら伝えるべきだな。どうすればいいんだろう。

自分がキャプテンならどうするだろう

行動 諦めずに試行錯誤する姿

タクヤのけがを監督に「伝える」か「伝えない」かについて4つの選択肢を示し、自分に一番近い立場を選んで理由を考えるようにした。そして、考えの異同に目を向けながら自由に交流できる場を設定した。その後、全体でも話し合い、それぞれの立場からの意見を黒板に整理し、友情やよりよい集団を目指す上で大切にすべきことを捉えやすくした。

親友の思いだから大切にしたいな。でも確かに、親友のけがが悪化しないように考えると伝えた方がいいかもしれないな。

自分が選択した学び方を意識して、様々な考えに触れながら交流する姿が見られた。また、よいと思った友達の考えを追加したり、考えを変えたりしながら多面的・多角的に考え、自分ならどうするか、友情やよりよい集団生活の充実の面から考えを深める姿が見られた。



振り返り 自らの学びを正確に捉える姿・今後の学習や生活に生かそうとする姿

本単元までに、「今日の学習を通して考えたリーダーとして大切にしたいこと」と「学び方」について振り返る場を設定し、**「自分が大切にしたい学び方について振り返る」**という方法を指導してきた。単元を通して同じシートを使うことで、方法を想起しやすくとともに、自分の考えの変容や学び方の傾向などについて視覚的に把握しやすくなった。

みんなが納得する答えを探すことがリーダーには大切だな。これまであまり意識していなかったから、これからの委員会等で意識しよう。

これまでの自分を見つめながらこれから自分が大切にしたいことについて考えていた。また、自分たちで方法を想起し、学習過程を振り返りながら自分の学び方を自己評価する姿が見られた。



「違う立場の人の考えを聞く」ことができたよ。次も意識しよう。

考察（○：成果、▲：課題）

- 自分で大切にしたい学び方を選択し、道徳科の学習を通して自己評価することを繰り返すことで、自ら学び方を意識しながら学習に取り組むことのよさに気付き、自己評価の妥当性も高まっていた。
- ▲ モラルジレンマ教材を扱ったが「よりよい学校生活、集団生活の充実」について考える時間が多くなっていた。「友情」についても考えを深めていく問い返しがさらに充実すればよかった。

右のQRコードから、学習指導案や他の実践をご覧いただけます。

